

石巻市の復興まちづくり (第37回)

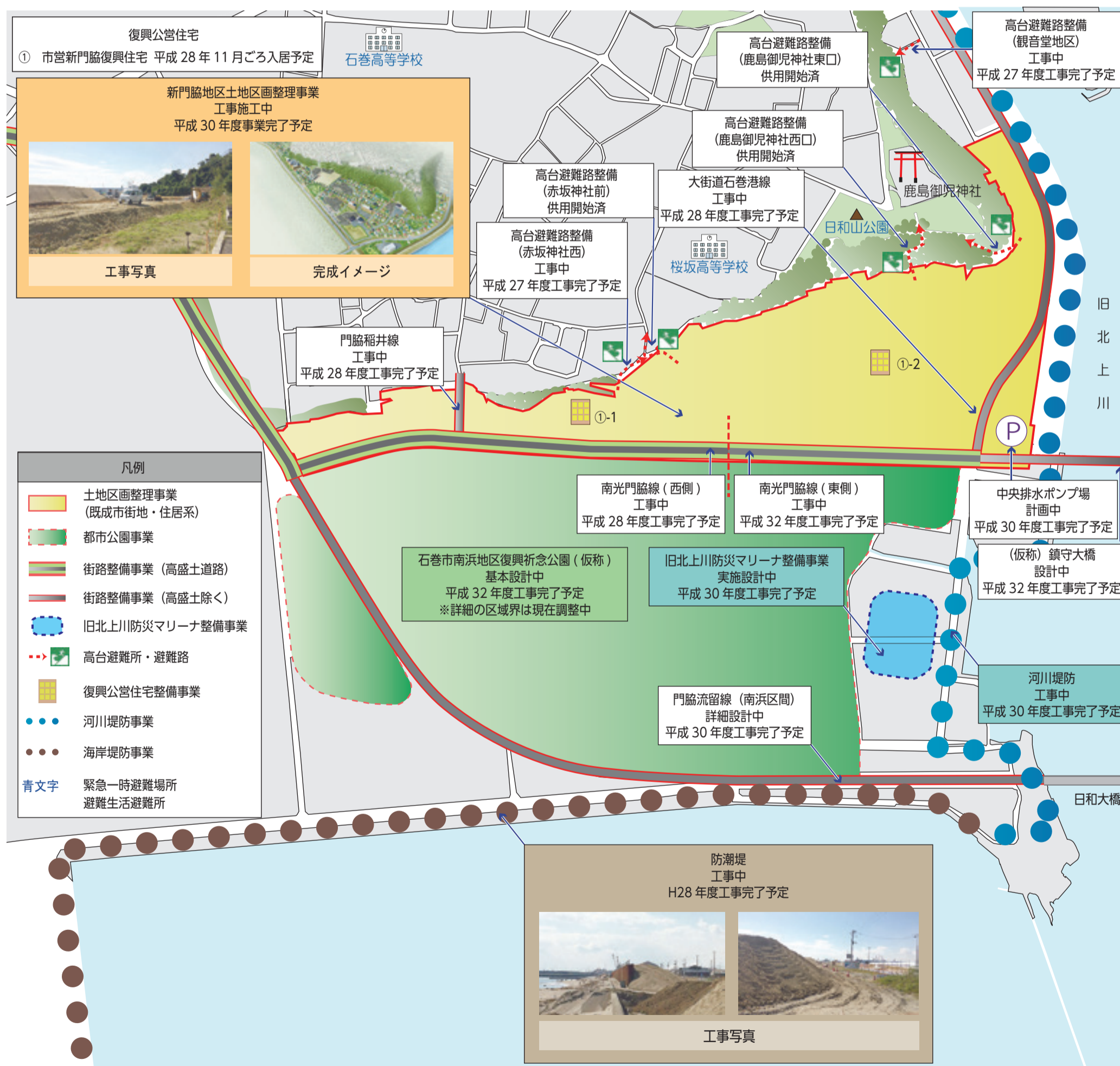
このコーナーは、市の今後の復興まちづくりに関する情報をお知らせします。
今回は、旧北上川右岸にある門脇・南浜地区の復興まちづくりの姿を中心に紹介します。

門脇・南浜地区の復興まちづくりの姿



復興記念公園計画地

新門脇地区



石巻市南浜地区復興祈念公園 (仮称) 基本計画の概要

8月21日に国・県・市が協同で石巻市南浜地区復興祈念公園(仮称)の基本計画を策定しました。

●基本理念

- 東日本大震災により犠牲となった全ての生命(いのち)への追悼と鎮魂の思いとともに、
- まちと震災の記憶をつたえ
 - 生命(いのち)のいとなみの社をつくり
 - 人の絆(きずな)をつむぐ

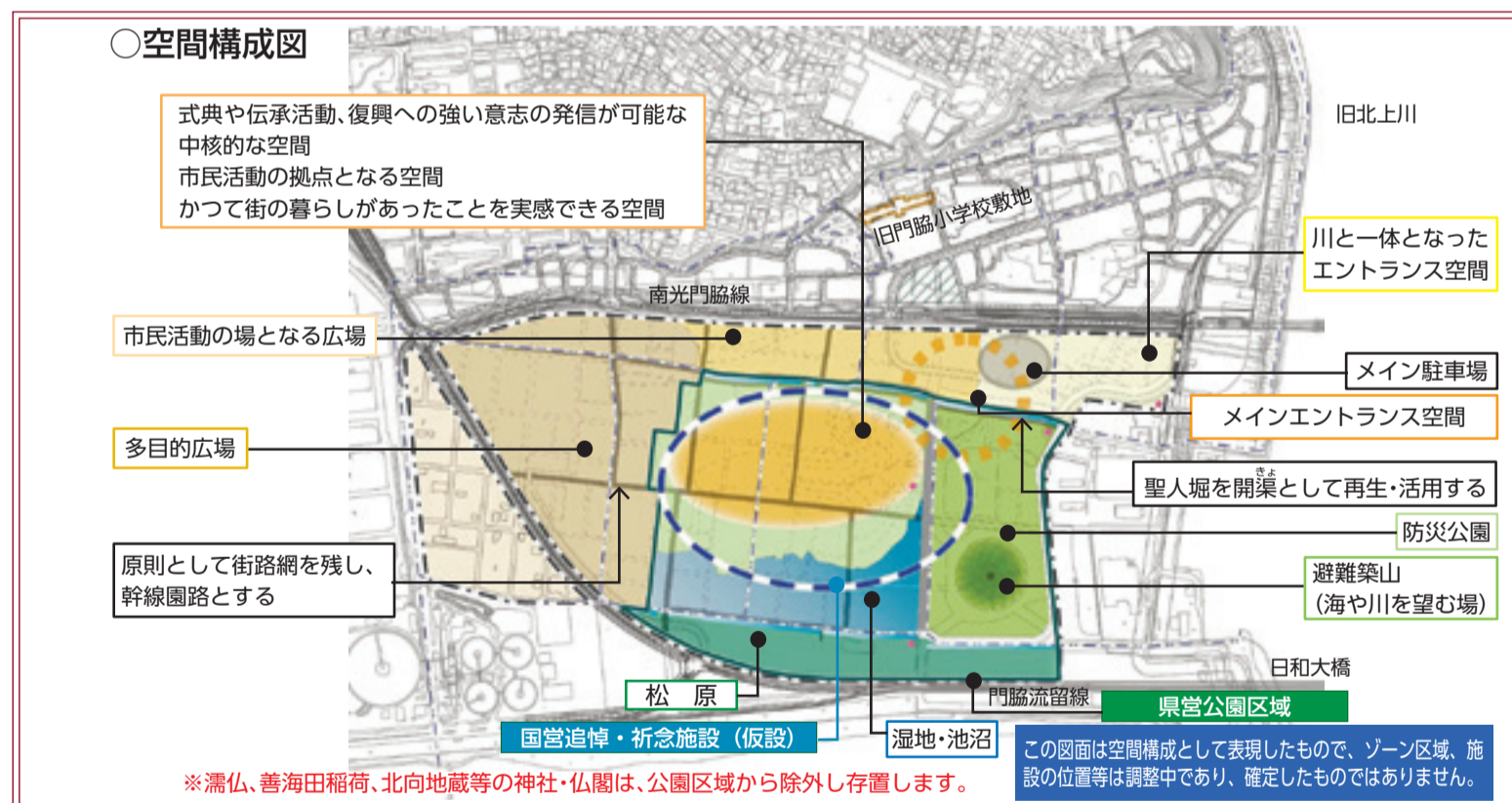
●基本方針

1. 犠牲者への追悼と鎮魂の場を構築します
2. 被災の実情と教訓を後世に伝承します
3. 復興の象徴の場としてメッセージを国内外に発信します
4. 多様な主体の参画・協働の場を構築します
5. 来訪者の安全を確保します

●空間構成

南浜町、門脇町および雲雀野町(以下「南浜地区」という)における集落の成り立ちの歴史や風土を示すかつての「浜」と、震災前に蓄積された半世紀の南浜地区への想いや記憶を示す「街」を土地利用の基本的前提とし、そこから東日本大震災による犠牲者を追悼し、被災の教訓を次世代へと伝承していくことを祈念するための「祈念公園」としての機能をそれぞれ尊重することが重要です。

- 浜の自然との関わり**
 - ・かつて湿地と松原であった場所。
 - ・津波で街が消失、本来の自然に回帰しつつある。
- 街の記憶**
 - ・市街地が大津波で消失したが、暮らしの記憶を再生する手がかりが残っている。
 - ・人々の心に暮らしの記憶がある。
- 追悼と伝承の祈念公園**
 - ・自然への畏敬の念と暮らしの記憶を持ち、追悼と教訓の伝承とともに、復興への意思を伝える。
 - ・命の尊さを実感する公園づくりを通じてこの土地に関わり続けていく。



復興公営住宅整備の進捗状況 (8月末時点)

○市全体(計画戸数 4,500戸)

設計着手率	75.6%(3,405戸)
工事着手率	69.9%(3,148戸)
入居開始率	32.4%(1,458戸)



市営新立野第一復興住宅(E棟)